

2019

第5期

# 女性のチャレンジ応援塾 輝☆業塾

「子育てをしながら働きたい」  
「特技や経験を活かして起業したい」  
そんな女性を応援する、草津市版起業塾を9/13  
～10/31に開催し、19人が受講しました。



1. 【塾の様子】市民団体「くさつ☆パールプロジェクトチーム」と協働で、中小企業診断士の田内孝宣さんを基調講師に迎えて開校。田内講師の個別相談もあり、充実していたと好評でした。
2. 【第5期生と市長懇談】輝☆業塾は、無料託児がありますが、この日は、子ども連れで市長と懇談。終始和やかな雰囲気でした。
3. 【事業プレゼンテーション】最終日には、1人5分間のプレゼンを行いました。
4. 【修了証授与式】全6回講座の内、5回を受講し、プレゼン大会に参加した人に修了証を授与。今回は、初めて参加者全員が修了証をもらいました。輝☆業塾で明確になった事業プランに沿って、前進あるのみ！

## 輝☆業塾 第5期生による チャレンジショップ開催のお知らせ

### よってココ★プラザ

2020年2月29日(土) 10:00-16:00  
会場：アル・プラザ草津2階  
タカキュー横イベントスペース

やる気を引き出すペップトーク講習会や  
バランスボール体験会、ハンドメイドバッグ・  
アクセサリー販売、親子で楽しめるワークショップも開催！

大きなヤシの木が目印

## 女性の総合相談窓口をご存知ですか？

相談内容：DV・家庭生活・仕事など  
TEL：077-565-1550 相談時間：9：00～16：00

男女共同参画課では、女性の総合相談窓口を  
設置しています。匿名での相談も受けています。  
一人で悩まないで、相談してください。



「みんなで一步」のバックナンバーは、  
HPをご覧ください

草津市 みんなで一步 検索



真の働き方改革とは?!

# みんなで一步

草津市男女共同参画推進条例 10周年

草津市男女共同参画  
啓発紙  
2020.2  
No. 52

女性活躍応援インタビュー

## 優良企業

県内初  
えるぼし

星3つ!



「えるぼし」認定とは  
厚生労働省が「女性活躍推進法」に基づき、  
一定基準を満たしている女性が働きやすい  
優良企業を認定する制度です。

### 認定基準について

女性が能力を発揮しやすい職場環境であるか  
という観点から、5つ評価項目があります。  
①採用 ②継続就業 ③労働時間等の働き方  
④管理職比率 ⑤多様なキャリアコース

「えるぼし」認定の段階  
認定は3段階で、5つの評価項目全てを満  
たすと最高位（えるぼし3つ）が取得できま  
す。

矢橋町にある株式会社西日本技術コンサルタントは、上水道・下水道の設計や工場排水などの水質分析を行っている会社です。昨年8月に、「女性が働きやすい優良企業」として、県内で初めてえるぼし3つの認定を受けました。認定までの道のりをプロジェクトリーダーの中井さんにお伺いしました。



株式会社西日本技術コンサルタント  
取締役総務部長  
中井 仁志さん



発行 草津市総合政策部 男女共同参画課 〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号  
TEL:077-565-1550 FAX:077-561-2489 E-mail:danjo@city.kusatsu.lg.jp

★ ★ ★ **働き方改革に取り組んだ  
きっかけはなんですか？**

職種によって違いがありますが、かつては、残業時間が月100時間を超えることもあり、転職してしまう社員が目立ったことがきっかけです。長時間労働を是正し、離職率を下げるため、「一時的に売り上げが下がっても、必ず残業を減らす」という代表者の決意のもと、社員一丸となって働き方改革に取り組みました。

★ ★ ★ **長時間労働是正のために、  
まず、何に取り掛かりましたか？**

各部署の20～40歳代の10人が集まり、「長時間労働改善プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトから①21時以降の勤務制限、②定時以降の電話受付停止の提案をし、採用されました。

★ ★ ★ **具体的には何をしましたのですか？**

①は、「周囲の従業員が帰らないから、帰れない」との声から、帰りやすい雰囲気づくりのために、21時以降の勤務を原則禁止にしました。また、ルール徹底のためにパソコンの起動情報も管理しています。



21時以降

②は、「定時以降のお客様からの電話が多い」との声から、営業時間外の電話受付を音声ガイダンスによる自動応答にしました。導入にあたっては、主要な取引先には出向いてお願いをし、理解を呼びかけました。



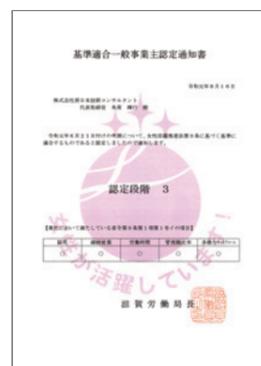
定時以降

★ ★ ★ **女性がキャリアアップしやすい  
環境はありますか。**

正社員53人中、女性が16人おり、2017年に新卒で女性初の設計技術者が入社しました。2013年からは、非正規から正社員への登用を本格化し、性別に関わらず、過去7年間で利用者は5人。また、2016年からは、一般職から転勤なども必要になる総合職へのコース変更を始め、利用者は2人います。

★ ★ ★ **その他に、力を入れている取り組みは  
ありますか。**

当社では、正社員の昇格の要件に、業務の受注に必要な国家資格を持っていることとしています。資格取得を目指す社員のために、社内の有資格者が講師となり、定期的な勉強会や模擬面接などを就労時間内に行っています。様々なサポートを行い、着実に合格者が増えています。



**えるぼし3つの認定書**



認定を受けると、認定マークを商品や広告などに付けることができ、女躍推進事業主であることをPRできます。優秀な人材確保や、企業イメージアップにつながります。令和2年には、プラチナえるぼし(仮称)も創設予定です！

えるぼし認定 厚生労働省 検索

1月17日、市民団体「くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん」と協働で、サイボウズ株式会社の中根弓佳さん(執行役員・人事本部長・法務統制本部長)を講師に迎え、業績を上げながら多様な働き方を実現する企業経営の秘訣などについて講演いただきました。

**女性活躍推進・働き方改革講演会  
サイボウズに学ぶ100人100通りの働き方**



**働く時間が選べる**

多様な働き方がある中で、残業をしない・短時間勤務・週3日勤務など、働く時間を選べる。



**働く場所が選べる**

事情により、オフィスで勤務ができない人に就業機会を提供。オフィス以外や在宅での勤務など、働く場所を選べる。



**情報共有のしくみや  
風土をつくる**

個人戦でなく、チーム戦で仕事をするために、情報を極力オープンにし、議論のできる職場にする。

「ここで働きたい！」と選ばれる会社になるために…

2月1日、草津クアホールで神山清子さんをお迎えし、映画「火火」の上映会を開催しました。女性の地位がまだまだ低かった時代、女性陶芸家が社会から認められていなかった時代、神山さんはどう前に進んだのか、インタビューをしました。



**火火**

女性陶芸家  
骨髄バンク運動の先駆者

「しんやま 清子」  
神山清子さん



**いちばんご苦労された時代はいつですか。**

小学生の息子と中学生の娘を一人で育てるため、陶作以外のどんな仕事も受けました。独立した頃は、絵付けと陶作で生計を立てていて、息子・賢一たちも薬掛けや窯だきを手伝ってくれました。



**女性陶芸家が認められていなかった時代、  
どんな思いで道を切り拓いてこられましたか。**

昔は、ご飯を炊くときの仕事として、女性が窯をたいていたのに、「女性は月経があるから汚らしい」といつしか差別されるようになり、悔しい思いをしました。オリジナル作品を生み出したい一心で今までやってきました。



**しぜんちゅう  
自然釉※の誕生秘話を教えてください。**

これで最後にしよう…と、そこらじゅうの葉っぱや木を窯に入れました。何日か目に窯が燃えたんです。火が強く、天井が焼けた跡が今も残っています。それでも薪があるだけ窯をたき続け、試行錯誤の結果できたのが、自然釉です。



**骨髄バンク発足に向けて尽力されましたね。**

賢一を治したいと始めましたが、間に合わないとわかっていました。しかし、10年、20年後のことを考えると、「今、立ち上がらなくてはどうするのか」という思いが生まれ、必死で前に進みました。病院や行政、草津市の障害のある人、学生などたくさんの方が協力してくれました。



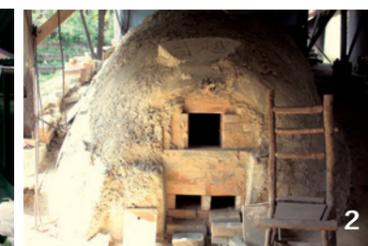
**今を生きる女性たちに一言お願いします。**

何かを実現するためには、社会と関わり、働き続けることが必要です。厳しいことを言いますが、働くことは趣味とは違います。「男性は外で働き、女性は家を守る」そんな言葉に惑わされず、皆さんが、それぞれの分野で前に前にと進まれることを願っています。

**神山さんと息子・賢一さんのもう一つの足跡**

現在、県内の骨髄バンク普及啓発運動は、神山さんが代表を務めるボランティア団体「滋賀骨髄献血の和を広げる会(和の会)」によって行われています。

骨髄バンクに関する  
問合せは【和の会】へ  
TEL (担当：片岡)  
090-1620-4612



1. 自宅は赤い屋根が印象的。
2. 寸越窯(ずんごえがま)と神山さんお気に入りの椅子。窯は温かみのある土の色。ここで自然釉が誕生した。
3. 窯の中はビードロ色で溢れている。

※自然釉…釉薬(陶器表面にガラス層を作るうわぐすり)を使わずに、自然に窯の中で灰が焼き物に付着したものを指す。